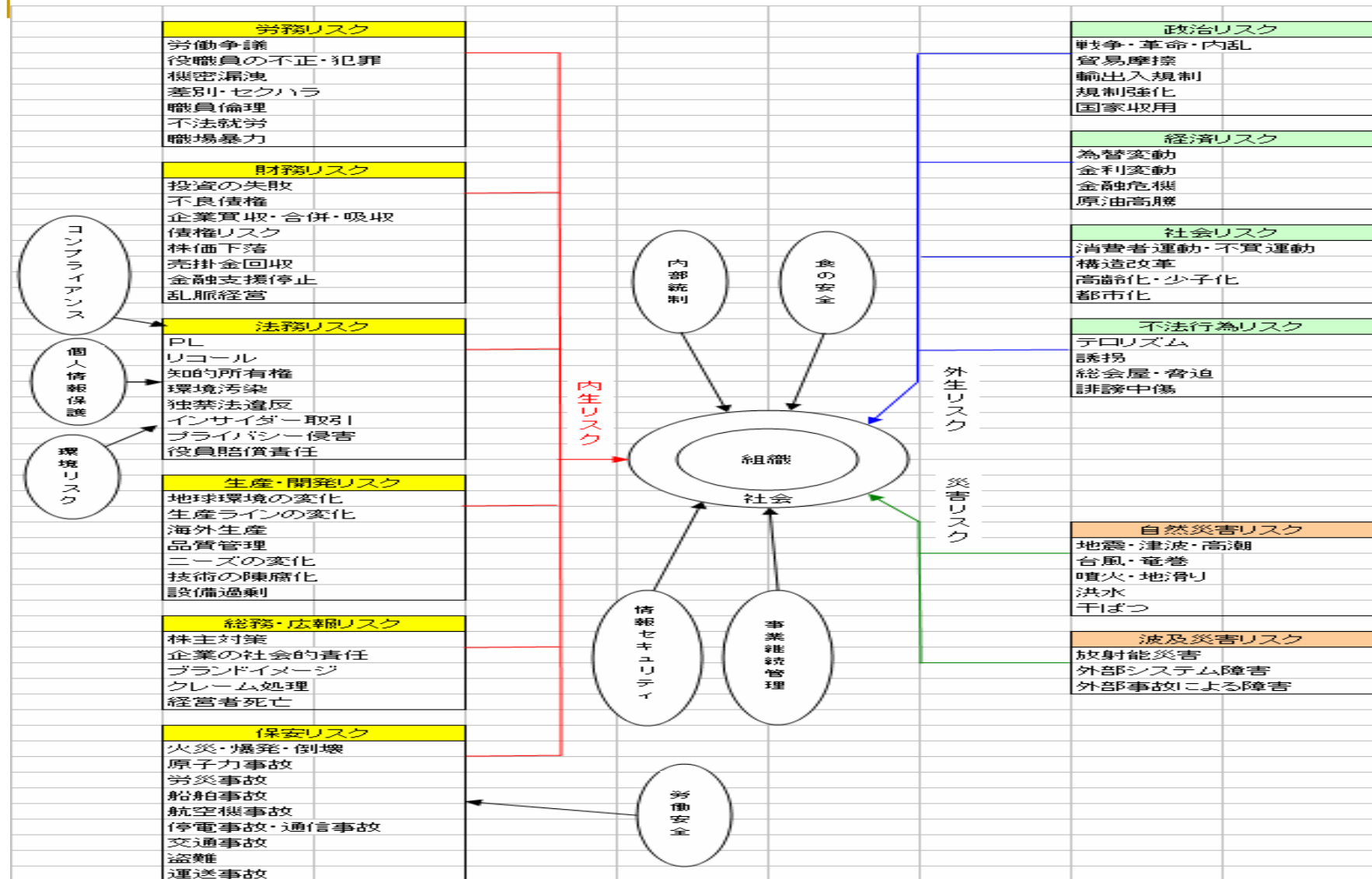
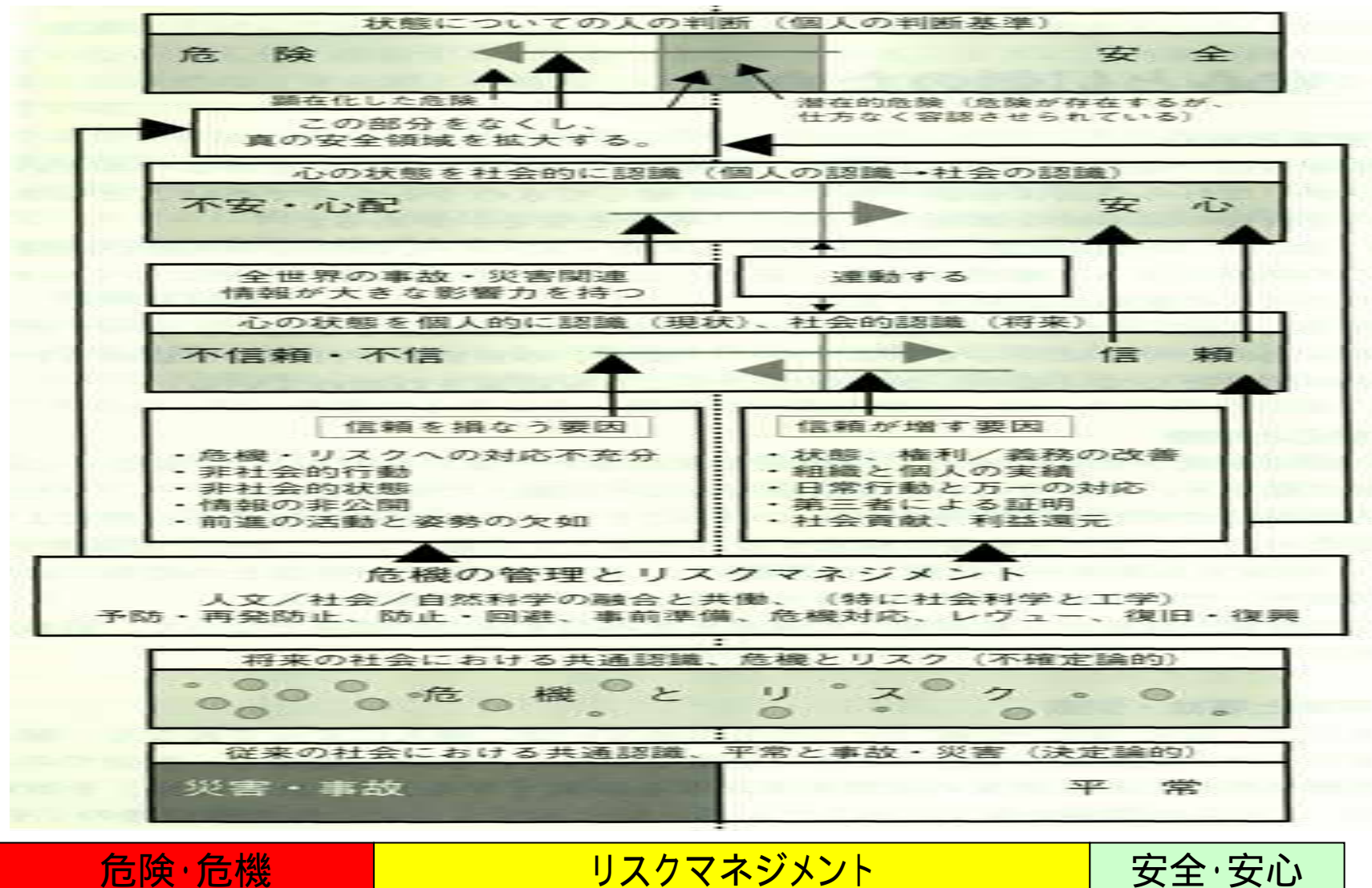


1. ビジネスリスクと社会問題



2. 危機(社会問題)～リスク～安全



3. 危機に弱い日本の企業

危機マネジメントの欠落

企業をおそう3つの脅威

突発的に襲ってくる脅威・・・大災害、大事故、メガテロ

現存しているが気がつかない脅威・・・知的財産、不正アクセス、成長企業

静かに忍び寄っている隠れた脅威・・・高齢化、都市化、不良債権、心の問題

組織文化の脆弱性(くさい物にふた)

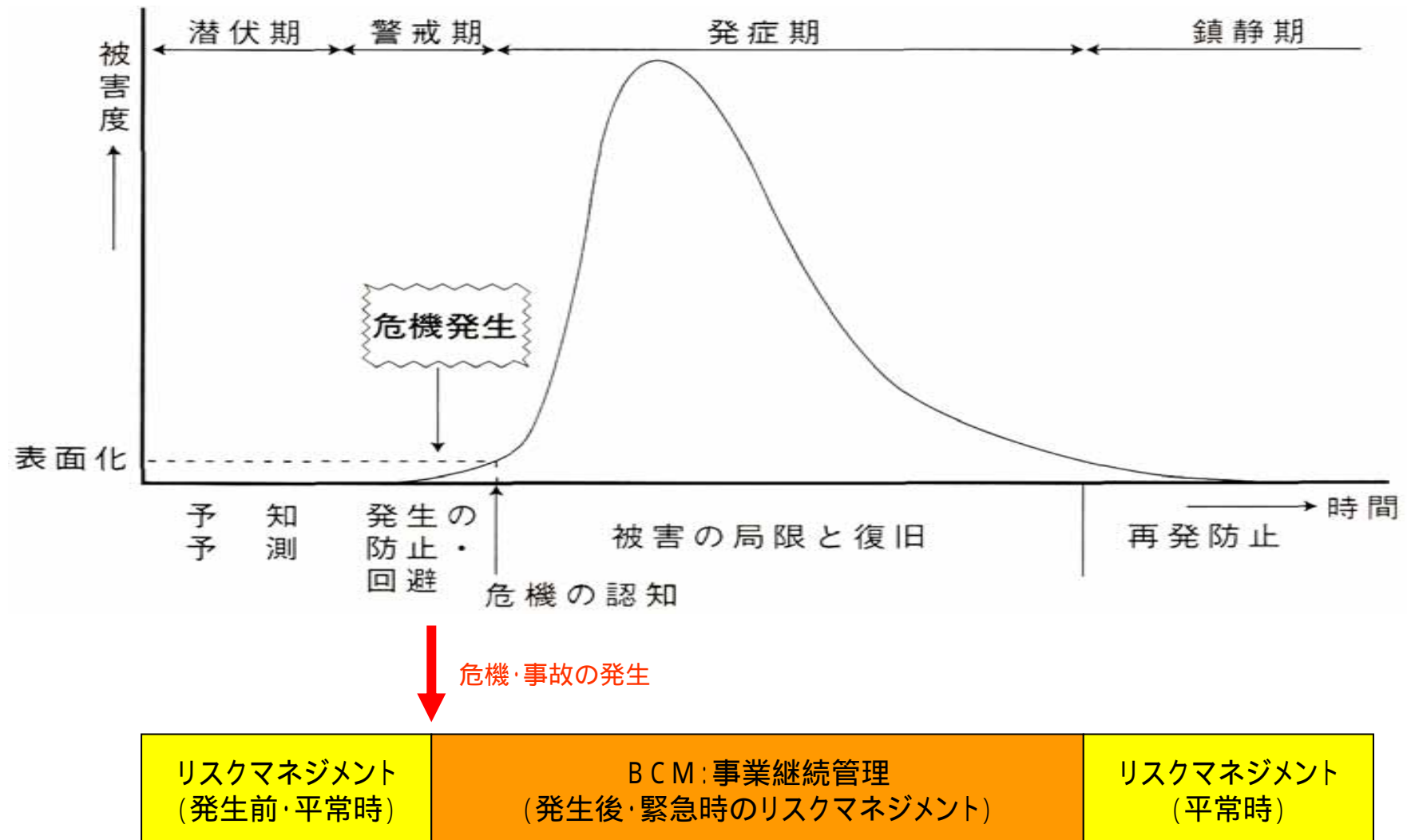
システム思考の欠如(縦割りと縄張り)

早期警報システムの必要性

マネジメントシステムの必要性

指導力の弱さ

4. 危機に対する最善の対策はリスクマネジメント



5. リスクマネジメントシステムの構築

(1) JIS Q 2001規格の7原則

経営者の方針

計画の策定・・・リスクアセスメントとリスク対策

リスクマネジメントの実施

パフォーマンス評価及びシステムの有効性評価

システムの是正改善

トップによるレビュー

システム維持のための体制づくり

(2) リスクマネジメントの4つのステップ

リスクの発見・確認

リスクの分析・評価

リスクの処理(コントロールとファイナンスング)

結果の検証

6. 内部統制制度とリスクマネジメントシステム

(1) J-SOX法(金融商品取引法)は「リスク評価とその対応」が枠組みとして必要

4つの目的

業務の有効性及び効率性

財務報告の信頼性

事業活動に関わる法令等の順守

資産の保全

6つの基本要素

統制環境

リスクの評価と対応……リスクマネジメントが求められる

統制活動

情報と伝達

モニタリング……………リスクマネジメントが求められる

ITへの対応

(2) 内部統制に係る経営者の評価(内部監査)に対するリスクマネジメントの活用(第2段階)

* 内部統制に係る実施基準(2006.07予定)及びSOX法フレームワークを参照して評価表ツール作成

7. 事業継続管理(BCM)とリスクマネジメントシステム

(1) ビジネスインパクト分析

リスクアセスメント

重要業務の特定及び影響度調査

(2) 事業継続計画(BCP)作成

BCM方針の策定

ボトルネックの特定・対策

事業の目標復旧時間の設定と組織体制構築

事業継続計画作成(共通BCP / 業務BCP / リソースBCP)

(3) BCMの運用

BCPのテスト・訓練・周知徹底

BCMのモニタリング(自己点検 / 内部監査 / 外部監査)

BCMの見直し及びマネジメントレビュー

8. リスクマネジメントシステムによる企業診断(リスクドック)

(1) リスク調査・・・リスクの洗い出しと発見

(2) リスク分析・・・損害の予測と測定 / リスク評価 / リスクマップ作成

(3) リスクコントロール

分類リスク対策(強度大 / 頻度大)・・・強度を軽減する / 回避

分類リスク対策(強度大 / 頻度小)・・・強度を軽減する / 移転と分散

分類リスク対策(強度小 / 頻度大)・・・頻度を低減する / 予防と補完

分類リスク対策(強度小 / 頻度小)・・・容認(保有)

(4) リスクファイナンス

自己金融による積極的保有・・・経費処理、引当金、準備金、自家保険

第三者へのリスク移転・・・保険、保証

(5) リスクコストの算定

(6) 最適手法の選択とリスクマネジメントの提案

(7) 実施指導(最適手法の実施、リスク対策改善、フィードバック)・・・オプションとする

9. 提供できるコンサルティング商品

リスクアセスメント(リスクの特定と評価)

リスクドック(リスクアセスメント及び対策案提言)

内部統制制度運用前リスクアセスメント

内部統制制度運用時のモニタリング(財務監査を除く内部監査)

B C P策定コンサルティング

B C M総合コンサルティング

I S M Sリスクアセスメントと管理策提言

F S M SリスクアセスメントとH A C C P計画策定

E M SリスクアセスメントとE M S実施計画策定